

視点1 授業改善の充実 取組②

指導と評価の一体化を図りましょう！



本時のねらいを達成できる授業は、子どもが思考を深めることができる学習課題が設定され、個に応じた適切な手立てが講じられている授業です。子どもの姿を具体的にイメージして評価項目を設定し、一人一人の学びに応じた支援ができるような授業づくりに努めましょう。

指導と評価の一体化を図る授業づくりのポイント

1. ねらいの設定

2. 目指す子どもの姿の明確化

本時のねらいを達成できた子どもの姿を、具体的な記述や発言の姿でイメージしましょう。

3. 評価項目の設定

ねらいを達成した子どもの記述や発言に含まれるべき要素を洗い出して、評価項目を設定しましょう。

4. 学習の計画

目指す子どもの姿の具現化に向けて、既習の学習内容を活用して課題を解決できるような学習活動を設定しましょう。（取組③へ）



一人一人の学びを予想し、つまずきに応じたり、発展的に考えさせたりするための手立てを用意しましょう。

ポイント！

5. 授業実践
（取組③）

子ども一人一人の学習状況を見取り、個に応じた支援を行い、課題の解決に向けて全ての子どもが学習に取り組めるようにしましょう。



※子どもの姿を具体的にイメージした評価項目は、授業中に子どもを見取る上で有効に働きます。

ポイント！

6. 振り返り

学習指導後に子どもの学習成果物を基にねらいの達成状況を把握し、必要に応じて補充的な学習を設定しましょう。また、評価の結果を基に、次時の支援計画を見直すなど、指導の改善に生かすことも大切です。